

横須賀市上下水道局は、神奈川県内の水道水中の放射性物質の測定を行っています！！

上下水道局では、平成11年9月に起きた東海村JCO臨界事故を受けて、防災対策の一環としてこれまで毎年1回水道水中の放射性物質を測定するとともに、職員の専門知識の習得など教育訓練に努めてきました。

測定は、「緊急時における食品の放射能測定マニュアル(平成14年3月 厚生労働省作成)」で定められているNaI(Tl)シンチレーション検出器(放射性物質を測定できる機器)を用いています。

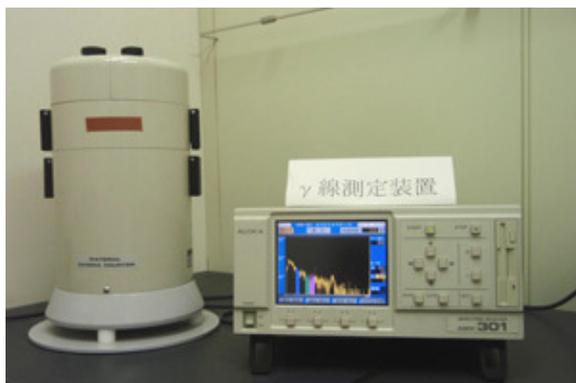
東日本大震災を受けて、原子力安全委員会より飲食物摂取制限に関する指標として放射性ヨウ素と放射性セシウムを対象項目として、お客さまの不安解消のためにも閉庁日も含めて毎日実施し、その結果を[ホームページ](#)で公表しています。

上下水道局では、神奈川県内の水道事業者の中で唯一放射性物質を測定できる機器を保有していたことから、測定依頼や問合せが集中しています。しかし、1日の測定能力が25検体程度と限られているため、本市の測定以外は、神奈川県、横浜市、川崎市及び神奈川県内広域水道企業団の4水道事業者(本市を含めた5水道事業者による相模川・酒匂川水質協議会:「相水協」という。)と神奈川県内の水道事業者の水道水を優先し、対応可能な範囲で他の水道事業者の依頼に応じています。

なお、本市で実施している測定には、訓練を受けた職員1名と相水協から技術者1名を派遣いただき、合計2名で対応しています。

放射線測定器仕様

方 式	NaI(Tl)シンチレータ
測定線種	ガンマ(γ)線
シンチレータ	NaI(Tl) 3インチ ϕ ×3インチ
エネルギー分解能	10%以下
外形寸法	約88mm ϕ ×約246mm
質 量	約2.3kg



NaI(Tl)シンチレーション検出器



各水道事業者から集まった検体(水道水)